

出張報告書

令和 1 年 7 月 22 日

会派名 志誠会
会長 立崎 聡一 様

出張者氏名 近藤 憲治 

下記のとおり出張したので報告します。

記

出張期間	令和1年7月20日(土) ~ 令和1年7月21日(日) [2日間]						
出張概要	①	月日	7月20、21日	市町村名	横浜市	会場	横浜国際会議場
		目的	食品ロス削減政策関連調査				
		テーマ	・フードドライブやフードバンクに取り組む事業者との面談及びヒアリング				
	②	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
	③	月日		市町村名		会場	
		目的	移動日				
		テーマ					
	④	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
所見	別紙のとおり						
備考							

※所見については、別紙(任意様式)で作成して下さい。

食品ロス削減政策関連調査（横浜）

横浜において開かれた SDGs（国連の持続可能な開発目標）関連のフォーラムにおいて、食品ロスの削減に特化したセミナーがあったため出席した。講師は、バリュードライバーズ株式会社の佐治佑二郎社長。お話によると、同社を設立する前の段階で飲食業界のコンサルタントや卸業を生業にしていた。そのことがきっかけとなり、食品ロスの課題に迫り着き、小売業からの返品や賞味期限で廃棄されるお菓子を販売する「スイーツポケット」事業を設立、その後、産地ロスに注目した。産地ロスとは、我が国の食品廃棄量 2,759 万トンのうち、食品ロスは 643 万 t であり、そもそも農業等の需給調整で店頭に並ぶ前の野菜等の廃棄はこの数字に入っていない。農家との繋がりが深いバリュードライバーズは、農家に写真をとってもらい出品を行い（売り手）飲食業界や消費者（買い手）が通常より安価で仕入れることができるフードシェアリングプラットフォーム「tabeloop（たべるーぷ）」 <https://tabeloop.me/> を立ち上げ、世界的に注目される問題ということで、メディアから問い合わせが殺到し、ビジネスとして注目される存在となった。大きな社会課題や地域に望まれる仕事など今まで見出されていなかった「価値」を見出した同社の経営方針は、網走の地域内においても今後の新ビジネスの創出という点から大変有意義なものであった。